

様式第五十の二（第48条第6項関係）

認定事業適応計画の（中間）実施状況の概要の公表 （2023年度）

1. 認定の日付

令和4年8月5日

2. 認定事業適応事業者の名称

雪印メグミルク株式会社

3. 認定事業適応計画の実施期間

開始時期：令和4年10月

終了時期：令和7年3月

4. 認定事業適応計画の実施状況

（1）事業適応計画に係る事業の目標の達成状況

本計画では、地球温暖化防止や気候変動などの社会課題に対応するため、環境負荷の低減を重要課題とし、CO₂排出量を2030年度50%（2013年度比）削減することを目標としている。

この計画のうち、令和5（2023）年度においては、ナチュラルチーズ製造により発生する副産物のホエイ（乳清）をメタン発酵処理し、発生したメタンガスをLNGガスボイラのエネルギーとして利用する設備を導入した。

（2）生産性を相当程度向上させること又はその生産し、若しくは販売する商品若しくは提供する役務に係る新たな需要を相当程度開拓することを示す目標の達成状況

令和5年（2023）年1月に更新したボイラのエネルギーを重油からLNGに変更したことで、CO₂排出量を2020年度（基準年度）比で16%削減した。一方で、当初計画に含まれていないナチュラルチーズ生産設備の能力増強により、電力使用量が増加した結果、CO₂排出量は計画比103.3%となった。また、売上高の計画未達や原料価格高騰などの影響で営業利益が減少したため、炭素生産性は当初計画（2023年度）を13.7%下回る実績となった。

（3）財務内容の健全性の向上を示す目標の達成状況

令和5（2023）年度の経常収支比率は107.5%であった。

（4）実施した事業適応計画の内容及び適用を受けた支援措置の内容

令和5（2023）年度において、自己資金およびグリーンボンドでの資金調達（2,883,600千円）により、メタン発酵処理設備・好気処理排水設備を取得し、2023年4月より稼働を開始した。また、取得した資産に対し、カーボンニュートラルに向けた投資促進税制の適用を受けた。